

目標達成計画

沖田 仁

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時の職員連絡網は整備されている。災害発生時の人員体制を確保する為に連絡網による伝達訓練の実施の取り組みが望まれる。	緊急時の災害マニュアルの職員把握の徹底がまずは必要で新しいスタッフにも緊急時にはできるように指導していきたい。	ホーム会議において緊急時の災害を想定した勉強会を行ないます。	4ヶ月
2	2	町内会への加入がなく、回覧板等による地域情報の収集や地域との関わりを深める事を課題としている。町内会への加入が望まれる。	町内会へ加入し、地域にNC咲ヶ丘の存在を認知してもらい、地域と協力できるホームとしている。	町内会へ参加したい事をオーナー・支店へ報告し、参加する為の条件(金額等)を調べ、それに合わせる形で参加できるよう話をしていきたい。	6ヶ月
3		35 スケジュール 3月ホーム会議／4月ホーム会議にて災害マニュアル等緊急時を想定した勉強会を行なう。 5月に緊急時訓練(日中)を行い。問題点の洗い出し、反省会等を5月のホーム会議にて行う。 6月に緊急時訓練(夜間)を行い、問題点の洗い出し、反省会等を			ヶ月
4		2 予定 オーナーに事情を話し、町内会についての情報を得る。 ※4月にある運営推進会の場で予定 運営推進会で当ホームの今後の地域での活動について説明しその方向で行くことを伝え、その後金銭がかかる事であれば支店へ報告し承諾を得る			ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。